

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 20 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県筑後市大字熊野180

住 所

タマホーム株式会社筑後支店

氏 名

代表取締役社長 玉木 伸弥

電話番号 0942-52-0814

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

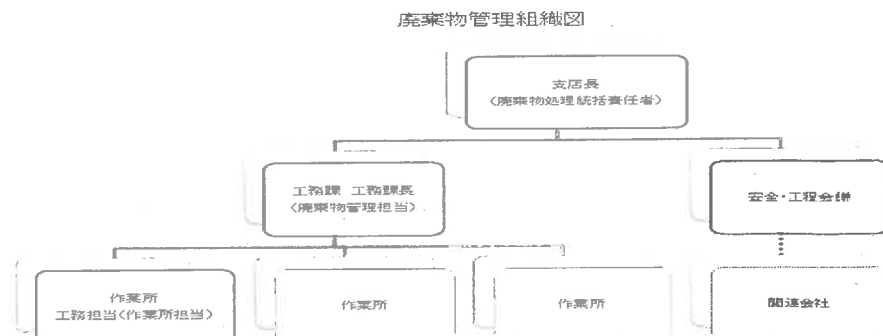
事業場の名称	タマホーム株式会社筑後支店
事業場の所在地	福岡県筑後市熊野180
計画期間	令和8年4月1日 から 令和9年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	350,263万円
③ 従業員数	50名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→乾燥→焼却→埋立 廃プラスチック類→破碎→原燃料 紙くず→破碎→破碎→原燃料 木くず→破碎→燃料チップ・ボード、原燃料 金属くず→破碎・切断→再生原料 ガラス・陶器くず→破碎→再生砕石→埋立 がれき類→破碎(焼却)→再生路盤材(原燃料) 石膏ボード→破碎→石膏・製紙原料

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	260 t	386 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	排出量	20 t	197 t
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	277 t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・梱包材や養生材を削減・木材のプレカット化 ・配管類のユニット化・発生抑制に関する情報収集 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	252 t	375 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	排出量	19 t	191 t
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	268 t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
上記に加え、下記の取組みを実施予定 <ul style="list-style-type: none"> ・発生抑制のための調達方法の工夫 ・工法の改善検討（汚泥）・梱包材の簡素化 			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・がれき類（コンクリート塊）、木材を分別 ・石膏ボードを分別 		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、管理型処分産業廃棄物と安定型処分産業廃棄物に分別を実施予定 ・分別に関する情報収集 			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 7 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	②計画	【目標】		
産業廃棄物の種類		ガラスくず等	廃プラスチック類	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		金属くず	紙くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		木くず		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 7 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 7年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t		
(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 (7年度) 実績】				
産業廃棄物の種類		木くず		
①現状	全 処 理 委 託 量	277	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	277	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施			
【目標】				
産業廃棄物の種類		木くず		
②計画	全 処 理 委 託 量		t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	268	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する ・再生処理を中心とした産業廃棄物処理業者の選定を促進する ・委託処分事業者の現地確認を実施する ・委託業者任せにせず、性情等を把握する			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

		【前年度 (7年度) 実績】				
①現状	産業廃棄物の種類					
	全 処 理 委 託 量				t	t
	優良認定処理業者への委託量				t	t
	再生利用業者への委託量				t	t
	認定熱回収業者への委託量				t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量				t	t
	産業廃棄物の種類					
	全 処 理 委 託 量				t	t
	優良認定処理業者への委託量				t	t
	再生利用業者への委託量				t	t
	認定熱回収業者への委託量				t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量				t	t
	(これまでに実施した取組)					
	②計画	【目標】				
産業廃棄物の種類						
全 処 理 委 託 量				t	t	
優良認定処理業者への委託量				t	t	
再生利用業者への委託量				t	t	
認定熱回収業者への委託量				t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量				t	t	
産業廃棄物の種類						
全 処 理 委 託 量				t	t	
優良認定処理業者への委託量				t	t	
再生利用業者への委託量				t	t	
認定熱回収業者への委託量				t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量				t	t	
(今後実施する予定の取組)						